

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



北村 信明 (徳島/93期)

2月宇都宮で落車したけど、骨折とかではなかったんで、体は大丈夫ですね。でも、エース機(フレーム)でコケるのが2回目なんで、フレームを換えるのに試行錯誤してるし、まだいい感じではない。まずは3月に向けてみっちり上げていけるように。意気込みは「狙いにいきます」と書いておいてください。



阿竹 智史 (徳島/90期)

1月立川記念の落車で左手中指の腱を切った。全日本選抜ではだましましたけど、だいぶよくなってきてたし、3月からはバシッと走りたかったんですけどね。名古屋記念の落車でまた指を痛めてしまった。骨は大丈夫そうだけど、精神的に参りますね。でも地元なんで気持ちで頑張りたいです。

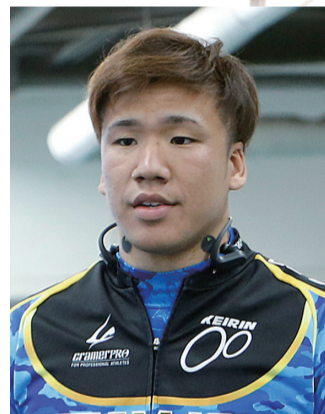
八谷 誠賢 (福岡/77期)

3月名古屋記念では、2⑧①⑧着と2連対。初日は打鐘から先行して小野俊とワンツー。3日目は後方まくりで久米康ら別線を粉碎と、年齢を感じさせない力強い走りを見せてくれた。



川口 公太郎 (岐阜/98期)

1月和歌山記念で2連対など、今年に入って成績が上昇している。2月高知では、自力、番手と器用に立ち回って1①⑥着。車の進みも良好だが、番手技術も確実に向上している。上位戦でも警戒したい。



佐々木 豪 (愛媛/109期)

今期が初のS級戦ながら、1月平を皮切りにF1戦は4回優出と大健闘している。2月静岡記念でも、二次予選で小松崎大を力でねじ伏せて1②⑦⑤着。存在を存分にアピールした。2度目のG戦でも暴れ回るか。

KEIRIN EVOLUTION

3/23・24 予選
3/25 決勝(8R) 14:10 発走予定

追い込み勢は、初手の位置取り次第という他ないが、神田紘輔、佐々木雄一、福島武士、三浦稔希ら点数上位の選手はいずれも地区プロで好成績を残している。好位得ると発あって不思議ない。

また、吉川誠もまくり、カマシがツポにハマると面白い。

前記の小田原エポリーションで決勝に乗っている松山桂輔が気になる。まくりには威力があり、小田原では3日間動いて見せ場を作り、予選2で1着も取っている。この種目には一番適性がありそう。機動力、経験値を生かし切るとVまで狙える。

近況では根本に遜色ない山田庸平が一番のライバルか。先行はなく、位置取り重視のまくり、差して勝負する自在タイプで、エポリーションにどこまで対応できるかは未知数。だが、若手機動型の前に立ち回れる場面も目立つだけに、勝負所で俊敏に立ち回れば逆転十分では。

昨年2月小田原での国際自転車トラック競技支援競輪と同様、ケイリンエポリーションが3日制で実施される。前2日間で実施される予選での総合ポイント上位者が最終日の決勝に進出する仕組み。競技の方で特筆すべき実績を残す選手は見当たらない中、機動力を重視して根本哲史を本命に指名したい。根本は昨年のG1戦にも4大会出場している実績上位の存在。昨年3月の鎖骨骨折の影響もなく、1月大宮記念では1④②③着で3度の確定板入り、3月名古屋記念でも二次予選を2着に逃げ粘るなど本来の力強さを取り戻した。中距離種目ながら、北日本地区プロのエリミネーションや団抜きで優勝もしている。競技用自転車も問題ない。

先行力上位の根本哲史



根本 哲史

山田 庸平